



本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)
 本島通信編集室 R251220-1226-15
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島詰所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>
 Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
 【1月1日～1月31日】
 朝づとめ 午前6時45分
 夕づとめ 午後6時00分

あけましておめでとうございます。

旧年中は教祖の道具衆としての自覚を高め、たすけ
 一条にお励みくださり誠にありがとうございました。

本年はいよいよ教祖百四十年祭を迎えます。

三年千日の歩みを通しての達成感と喜びを味わえる
 よう、心定め^{うつつしみ}の完遂目指して、または完遂は厳しい
 状況であつても最後まで踏ん張っていきましよう。

そして年祭当日、おぢばに帰ることが出来ても出来
 なくても、ご存命の教祖の親心に感謝して、明治
 二十年陰暦正月二十六日教祖が現身をお隠しになら
 れ世界ろくに踏みならしに出られたように、私た
 ちも勇み心と大きな心で世界たすけへの挑戦を誓い
 合いましよう。

本年も一手一つに心明るくよろしく願ひいたします。

立教百八十九年元旦

天理教本島大教会長 片山幹太

教祖百四十年祭

立教百八十九年二月二十六日
 午前十時三十分 執行



あけましておめでとうございます

立教189年 各会より謹んでごあいさつを申し上げます

婦人会本島支部長

片山 かおり

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、婦人会活動の上にお力添えを賜り誠にありがとうございました。いよいよ教祖140年祭が間近に迫ってまいりました。そんななか婦人会本部より、本年からの新しい活動方針をお打ち出したいただいております。

一、おつとめの大切さを学び真実の心で勤めよう

一、日々に教えを実践し、おつとめを勤める人を増やそう
教祖が御身を隠されてまで急き込まれた「おつとめ」がなぜ大切なのかを学び、日々真剣に、人のため世界平和のために祈りましょう。また、一人でも多くの人と世界たすけの「おつとめ」が勤められるよう、婦人の徳分を活かして「にをいがけ・おたすけ」に励み、ほっこり温かい笑顔と言葉で、教会を支えさせていただきましょう。本年もどうかよろしく願ひいたします。

青年会本島分会委員長 伊東賢太郎

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は青年会活動の上に御心を御寄せ頂き、誠にありがとうございました。

本年はいよいよ教祖140年祭の年。

青年会本島分会では、この教祖140年祭に向け、さまざまな分会活動を通して、共に道を歩む本島に繋がる仲間たちと励まし合って通ってまいりました。

また、本年は第100回目となる天理教青年会総会が開催されます。

青年会本島分会として、仲間たちと共に、本年の干支である午のごとく、力強く活発に動き続け、邁進してまいりたいと思います。本年もどうぞよろしく願ひいたします。

本島学生担当委員長 雲庵春彦

新年明けましておめでとうございます

旧年中は学生層育成の上に尽力頂きありがとうございました。

いよいよ教祖140年祭の年となりました。

学生担当委員会では、十年に一度行われる3月28日の「春の学生おちばがえり大会」に向けて、一人でも多くの学生がおちばに帰れるよう頑張りたいと思います。

何卒皆様方には学生層への丹精、声かけをよろしく願ひいたします。

少年会本島団团长 大上道徳

新年明けましておめでとうございます。

昨年も少年会活動の上に何かとお心寄せ賜り誠にありがとうございました。さていよいよ教祖140年祭の年を迎えさせて頂きました。本島団の委員会もこの年祭活動と共に3年間助け合って届かぬながらも少年会活動に精一杯勤めさせて頂きました。新たに委員会も新体制に刷新される予定ですが変わらずお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨年の年頭幹部会で真柱様は、「天理教少年会の使命は、縦の伝道にあります。縦の伝道は、親や教会の人など、子供を育成する身近な大人が、自分の体験から得た信仰の喜びを子供に伝え、更に、子供たちが伝えられた喜びを素直に受け継ぐことができるまで、必要に応じて、修理や肥をほどこして、将来立派なようばくに育つための基礎を築いていく。これが、少年会員を育てるみなさんの勤めであります。」とのメッセージを頂戴いたしました。

本年も少年会活動の頂点であります「こどもおちばがえり」に合わせ、7月26日に少年会本島団「第36回おつとめ総会」を開催し海外教会の少年会員と共におつとめ着をつけておつとめ総会を開催させて頂く予定です。各教会や地域でのおつとめ練習を重ねて頂き昨年よりも成長した姿を教祖にご覧いただけることを目指して丹精を積み重ねてまいりたいと存じます。

本年も弛みなく縦の伝道、育成にご支援ご協力を賜りますことを重ねてお願い申し上げます。



「流れ」を手放さず 皆で一生懸命に

12月大教会教会長会議

立教188年12月22日

大教会長 片山 幹太

お道には「全教」を冠する行事がい
くつかあります。

「全教一斉ひのきしんデー」「全教
一斉にをいがけデー」、そして「全教
野球大会」であります。

今年の第52回全教野球大会で、本
島大教会野球部は17年ぶり2度目の
優勝を果たすことができました。

私は監督という立場で、背番号30
のユニフォームを着ています。身体
が大きくなりながらも、まだユニ
フォームはギリギリ着ることができ
ます。そしてベンチで試合を見なが
ら、学ぶことがいくつもありました。

一つ目は「流れ」を手放さないこと、
二つ目は「皆で一生懸命になる」こと
の大切さです。この二つが優勝をつ
かんだ勝因であったように思います。

まず、勝負事には「流れ」というも
のがあります。流れをつかむことや、
流れを手放さないことがとても重要
です。これは野球だけでなく、さま
ざまな物事をすすめていく上でも同
じことが言えると思います。

流れを手放してしまうことになる
きっかけは、ミスにあります。守備
エラーをしたり、投手がフォアボー
ルを連続して出してしまうことなど
です。しかし本島野球部は、そっ

うミスがあつたときにこそ、皆が
よく声を出してフォローするので

フォアボールが出たら「打たせていこ
う」など、ミスや失敗をあげつらうの
ではなく、ミスに対して気持ちの切

り換えができるような声をかけるの
です。一人のミスを一人に背負わせ
るのではなく、皆んなでフォローして

いこうという雰囲気があつたことが、
流れを手放さないことにつながった
と思いました。

そしてもう一つ。一生懸命の姿は
次の世代を動かすということです。

初出場で初優勝した年から16年が

経ち、16年前の選手の子どもが今回

5人出場していました。また選手層

も若返っています。第一試合では10

代が3人、最高齢が32歳でした。二

世野球部員の親は、上手な人もいま

しましたが、経験がほとんどない人もい

ました。けれども一生懸命に楽しん

で、その姿を見て育った子どもが自

分もそのメンバーの中に入ってやり

たいと思つたのではないのでしょうか。

これは野球だけでなく、教会活動

も一緒だと思います。どうか、良い

流れを手放さないためにも、ちょっ

とした失敗があつたら他の者がたす

け合い、思いやり、相手の身になっ

て動く。そういう心を養わせていた
だきましよう。

そして教会は、親神様・教祖の教
えのもと、陽気ぐらしを目指してい
る場所です。明るく楽しい、そんな
教会になれば次世代にも信仰がた
がついていくのではないのでしょうか。

本島野球部も17年かかってこま
できました。これからおみちの野
球部らしく、立派なようばくへ成長
できる場になるような野球部を目指
していきたいと思っています。

対戦相手チームの教会長様からも
何通か「すばらしいチームですね」と
メッセージをいただきました。あり
がとうございました。

最後に、いよいよ教祖140年祭まで
1ヶ月となりました。それぞれが定
めた目標があると思います。もうひ
と踏ん張りという方も、もしかした
ら目標達成が難しいという方もおら
れるかもしれません。

状況はさまざまと思いますが、
お互いに教祖の年祭当日は充実感と
喜びをもって迎ええられるように、最
後まで勇んで通らせていただきま
しょう。よろしく願います。

(文責・本島通信編集室)

本島大教会 神殿講話 (要旨)

【立教188年12月22日】

教祖ひながたの道を頼りに
勇んでにをいがけ・おたすけを大教会役員 長谷川邦昭 はせがわくにあき

只今は本年納めの月次祭を大教会長様を芯に勤められましたこと、誠に同慶に存じます。

教祖の親心について、論達第四号に次の通り記されています。

「明治二十年陰曆正月二十六日、子供の成人を急ぎ込まれ、定命を縮めて現身をかくされたが、今も存命のまま元のやしきに留まり、



世界たすけの先頭に立つてお働き下され、私たちをお導きくだされている。」

この教祖の親心にお応えすべく、年が明けて1月26日に迎えます教祖140年祭に向かって、教祖にお喜びいただこうと三年千日歩んでまいりました。

月日は刻々と流れ、その流れに終わりはありません。

私は30歳のときに教会長になり、その3年後に教祖90年祭を迎えました。このたびの教祖140年祭は6度目の年祭となります。この年祭に向かって発布された論達第四号に心を沿えて、皆さま一手一つに成人の歩みを進め、教祖にお喜び頂く旬であります。そして陽気ぐらしへの道のりは、教祖140年祭を勤め終えた後も

ずっと続くのであります。

心定めに向かつて頑張り達成できた方、またなかなかできなかった方も、残りひと月、心定めて親神様・教祖にお喜び頂けるよう成人の姿を示していくのは、私たちお道を通る者の約束事ではないでしょうか。

「不易流行」という言葉があります。

松尾芭蕉が『奥の細道』の旅の間に体得した概念で、「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展はない」という意味です。つまり、不変であるには変化が必要であり、変化するには不変を忘れてはならない、その根本は一つということなのです。

新春を迎えるこの季節、昨日までまったく変化のなかった樹木にたくさんの新芽が吹くことを祈り、生命の息吹と新しい年の到来を意識するのは私だけではないと思います。

論達第四号では、これについて、『ふしから芽が出る』

と、成つてくる姿はすべて人々の成人へとお導き下さる親神様のお計らいであると論され、周囲の人々を励まされた。」とあります。

今年、日本では米価が高騰し、皆

さま大変苦心されたと聞いております。教祖ひながたの道では、教祖が月日のやしろとなられ、「貧に落ち切れ」と中山家のあらゆるものを困っている人々に施され16年目、ついに娘のこかん様が「お母様、もう明日のお米がありません」と言うと、教祖は、

「こかんや、世界には枕もとに山ほど米をつんでも食べるに食べられず水ものどをこさんと言うて苦しんでいる人もある。それを思えばわしらは結構や、水の飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え下されてある。どれくらいつまらんとでもつまらんと言うたらいかんで。決して乞食はささぬ。」

と温かいお言葉をおかけくだされ、たんのうの心でお通りくださいました。

論達第四号では、

『水を飲めば水の味がする』

と、どんな中でも親神様のたいなる御守護に感謝して通ることを教えられ

とお示しくだされていることは、とても有難いことだと思いました。

戦後、私の家族6人は広島島の焼け野原で行く場所がなく、父の友人の

牛舎で生活を数年いたしました。食事は麦、大根、さつまいものお粥の毎日でした。それから数年して、親戚の家で正月を迎え、初めて白いお米をいただいたとき「うわあ、銀飯が食べられる」と子ども心に感動したことを今でも覚えています。

私は大学在学中に生死をさまようような身上をいただいたものの快復し、医師から「あなたは奇跡的に、天の神様から救われたのだよ」と言われたことから大学を辞め、お道を通らせていただく決意をしました。

本島大教会で青年づとめをしている最中、少しでも教祖のひながたを味わいたいと、布教に出るお許しを片山俊次3代会長様からいただき、夫婦で単独布教に出ました。私27才、家内24才でした。

私も家内もお道は初心者で、「十柱の神名」や「八つのほこり」は教わったばかりで、教祖ひながたを頼りにどのように話を取り次いだら良いのかも分からない状態でした。そして九州の中津駅で降りました。

早速、にをいがけに出ようと思いましたが、知らない土地で行く場所のあてなどなく、道行く人に近所の神社を訪ね、階段を上って街を見渡

して、どこから歩こうか話しながらも、「もう遅いから今日はこの神社で寝て、明日から布教に出よう」と話をしました。ところがゴソゴソと音が聞こえて、誰か人影がいる気配がありましたので「気持ち悪いからどこかへ行こう」と神社を降りて村の道のあるいていたところ、一人の婦人が声をかけてくださり、「あんな達見かけない人だけど、何か用事ですか？」とのことですので、「私たちは天理教の布教師で、この土地に來たばかりですが、行く場所がなく困っています」と答えると、「それは不便ですね。よければ私の家の納屋を使ってもいいですよ」と言ってくださり、寝るところが定まりました。親神様・教祖の不思議なお働きを感じました。

翌朝、さっそく二人でにをいがけにでかけました。私は「今日から断食する」と言うので、家内も「私もする」と言い、次の日になると家内は脂汗を流してしゃがみ込みました。私はもしかすると妊娠しているのではないかと思ひ、アンパンを買って食べさせたことは懐かしい思い出です。あちこち歩いてにをいがけをする中、老人ホームのようなところで長

らく寝たきりの老人にたどりつきました。おさづけを取り次ぐと、ベツドは何日も洗ってないのか、糞尿の臭いがひどく、部屋も汚かったので、部屋の掃除もさせていただきましたが、あまりの臭さに家内はたまらず外に出たこともありましたが。

何も分からずににをいがけに歩いてある私たち夫婦を心配されたのか、しばらくして大教会長様から「帰って来るように」とお便りをいただき、再び大教会で青年・女子青年を勤めました。とにかくお道を通ると決めた以上、教祖ひながたの道の万分の一でも味わいたい、何からでもさせていただこうという熱意いっぱいでした。

青年づとめを終えて、3代会長様から、カリフォルニアにあるエヌ・シー教会の後継者となるよう御命をいただき、教会に住み込みました。にをいがけが恥ずかしくて、お道の教えがまだよく分かっていない上に英語で伝えることが難しく、断られたり、「うるさい、出ていけ」と怒鳴られたり、熱狂的なキリスト教徒からは「あなたの宗教は邪教だ。早く目を覚ましなさい。キリストを信じなさい」と私に改宗を迫られるこ

ともありました。それらに対して、何も言えず歩きました。

またある家では、犬に吠えられ、足を噛まれたこともありましたが。

その都度、気を取り直してにをいがけに歩くのですが、なかなか匂いがかかりませんから、にをいがけが嫌でたまりませんでした。いつも心の迷いと葛藤が続き、うつ病になりました。

そんなとき、神様のお言葉に励まされました。

いつもわらはれそしられてめづらしたすけをするほどに

(三下り目)

いまのまじかなみちでもなければ、なよ　さきのほんみちたのしゆで　いよ　(三号)

論達第四号には

『人救けたら我が身救かる』

と、ひたすらたすけ、一条に歩む中に、いつしか心は澄み、明るく陽気に救われていくとお教え下された。」とあります。

教祖100年祭のときは、ある事情を引き受けて大きな借金を抱えている状況のなか、教祖のひながたを少しでも味わおうと禁酒禁煙の心定めをしました。

以前、真柱様は春季大祭において、次のお言葉をくださいました。

「言つまでもなく、教えを学ぶのは単に知識としてわきまえるためではなく、教えを実践するためであります。教えを身に付け、日々教えに基づく生き方をするためであります。神一条、すなわち親神様の思召に沿いきることは、決して容易なことではありません。しかし、常にを、やのお心を求め、思召に近づく努力を重ねることが、私たちの成人の歩みであります。

人はややもすると、わが身思案に流れて、を、やを見失い、ついにはを、やに背を向けかねないのであります。何かにつけ親神様の思召をたずね、教祖ならどうなさるだろうかと、ひながたに照らし、教えを定規に思案し、行動すること

を心がけたいと思うのであります。それが、人生の節目や岐路といった重要な場面で、思召にかなう判断ができるかどうかということにもつながるのであります。お教えいただいたことに基づき、心を澄まして思召にかなう道をたずねれば、必ず採るべき道を浮かべせていただけると信じるのであり

ます。

今日には今日の葛藤があり、遠巡があるでしょう。そうしたときに思案の拠り所ともなるのが、

「さあ／＼月日がありてこの世界あり、世界ありてそれ／＼あり、それ／＼ありて身の内あり、身の内ありて律あり、律ありても心定めが第一やで」(明治20・1・13)とのお言葉であります。」

(立教176年1月26日、春季大祭神殿講話)

教祖110年祭では、私はアメリカから毎月おぢばがえりを心定め、12年間実行いたしました。そこで「おぢばがえりとは何だろう」と思案して思いついたのは、真夜中に教祖墓地の前で一年間、水垢離して十二下りてをどりを勤めることでした。夏は良いとしても、冬に水垢離は身を切られるほどの痛みでした。

未熟ながらも教祖のご苦勞を少しでも味わおうと行ってききましたが、その上で教祖殿を参拝しますと、おぢばにお導きいただいた感謝の気持ちがいっぱいに湧きあがってきます。そして、その時折の悩みに対して適切な言葉を悟れるようになりました。何かはわかりませんが、教祖の前に一人座っていますと、不思議という

いような不安を取り除いてくださり、心が落ち着いて安らぎ、エネルギーを頂戴する感じがです。

さらに本部、大教会、本島詰所周辺の草抜きひのきしんをさせていただいたり、日中はにをい、がけに歩かせていただいています。

「心の精神の理によって働かそう。精神一つの理によつて、一人万人に向かう。神は心に乗りて働く。心さえしつかりすれば、神が自由自在に心に乗りて働く程に。」

(明治31・10・2)

明治14年、滝本村からかんろだいの石出しが行われたとき、車がお屋敷の門まで来たときに動かなくなりしました。ちょうどそのとき、教祖がお居間からお出ましになって、「ヨイショ」と、お声をおかけくださると、皆も一気に押してツーツ入ってしまった。一同は、その時の教祖の神々しくも勇ましいお姿に、心から感激した、ということが教祖伝逸話篇八二「ヨイショ」にあります。

当時の情景が目には浮かぶようなエピソードです。特に教祖年祭を直前に控えたこの旬に教祖の神々しいお姿は、信仰生活のあらゆる場面において、すべてのよう、よくに次の一歩

を踏み出す勇氣をお与えくださるはずです。教祖は今このとき、私たちの心に自覚があるないに関わらず、「ヨイショ」と力強いお声がけをしてくださっています。

この年祭には一人でも多くお連れしておぢばへ帰ることをお互いの約束として、一日一日を教祖ひながたを頼りに通らせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

大教会長動向

▼1月(予定)▲

- 1日、大教会元旦祭執行
- 4日、本部年頭あいさつ
- 5日～7日、お節会ひのきしん
- 22日、大教会春季大祭執行
- 24日、修養科門出まなび
- 25日、本島鼓笛隊御供演奏
- 26日、教祖百四十年祭参拝
- 28日～2月1日、

教会長ご招宴ひのきしん
30日、本部神殿奉仕当番

以上

十二月月次祭 祭典役割

献饗長 平井真治郎
伝 供 向所隆文・永島宗行・
後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・
片山直明・横山正次・高島栄造・
長尾海和・岩橋秀一・白垣初生・
香川勝巳・鎌田典夫・宮路和徳・
村田輝夫・大西剛・橋口徹・古
井信・上山康雄・川村吉夫・
溝口晋太郎・江草克二
雅楽奉仕者 文岡育則・池
田恒治・上山薫・伊東賢太郎・
鎌田康典・白垣俊生（順不同）

祭主 指図方	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	西山道教	厩者	岩橋竜造	賛者
地方	牧野道昭	吉田晴雄	高島栄造	原口実
	岩橋竜造	原口実	岩橋秀一	高垣光治
てをどり	篠原丕王	奥村龍夫	宮路和徳	
	大教会長	永山晴明	白垣初生	
てをどり	片山 勲	向所隆文	牧野近弘	
	寺本教生	片山直明	橋口 徹	
てをどり	会長夫人	長尾澄子	高垣洋子	
	前 会 長	吉田要子	片山美穂	
てをどり	片山やすゑ	伊東晴美	梅木澄代	
	井上 哲	伊東康成	吉田知彦	
てをどり	窪田靖明	長濱充憲	溝口晋太郎	
	岩橋慶三	横山正次	滑川善久	
てをどり	老木邦光	後藤正治	肥後 信	
	平井真治郎	長尾海和	鎌田典夫	
てをどり	永島宗行	大上道徳	位下道治	
	片山孝代	菅岡和美	岩橋貴子	
てをどり	片山 榮	岩橋元実	上田敬子	
	池田さわみ	永山みずゝ	橋口ともよ	
神殿講話	長谷川邦昭（米国からの動画による）			

十二月月次祭祭文

立教百八十八年十二月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王
命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎ん
で申し上げます

親神様の果てしない親心と尽きせぬ御守護の
まにまに日々結構にお連れ通り頂くなか今日
は早くも本年の納めの月次祭を執り行う日柄
を迎えました

思い返せば本年は教祖百四十年祭への仕上げ
の年として心に定めた目標完遂に向けて教祖
のひながたを胸に勇んで歩ませて頂いてまい
りました

その中に各地では「ようばく一斉活動日」の第
四回・第五回に同じ地域に住むようばくが互
いに励まし合い勇ませ合って実施させて頂く
ことができました

また五月と十一月の「斯道会別席団参」に向け
ては「心躍る陽気なおぢばがえり」を目指して
多くの方々をおぢばに連れ帰らせて頂くこと
ができた別席ひのきしん定時のおつとめにと一
手一つにつとめさせて頂きました

ここに一年の歩みを振り返り常に変わらぬお
導きにお礼申し上げ只今よりおつとめ奉仕者
一同心を一つに揃えて座りづとめてをどりを
陽気に勇んで勤めさせて頂きます

御前には師走の寒空の中もいとわらず大勢の教
え子達がおうたを唱和して共に御礼申し上げ
る真実の状をも御覧下さいまして親神様にも
お勇み下さいますようお願い申し上げます

私共教会長ようばく信者一同は今年一年に賜
りました数々の御守護に心より御礼申し上げ
迎える年の年祭には「力一杯につとめたとい
う充実感と喜びをもつて年祭を迎えることが
できるように最後まで勇んでおつとめ下さ
い」と真柱様が先の秋季大祭で仰せ下された
お言葉に込められた思いに私共は勇み心を奮
い立たせて心の成人に努めさせて頂く決意で
ございます

何卒この心定めをもお受け取り下さいまして世
界たすけを目指す上には尚も不思議な御守護を
賜わり晴天の心そのままに陽気ぐらしの世の姿
に一日も早く立て替わりますようお願いの程を
一同と共に慎んでお願い申し上げます
（原文のまま）

入社祭

（立教188年12月22日）

▼タミナル△清水ヘジョン

【計1名】

12月22日（月）

【香川県丸亀市】

天 候 曇時々晴
最低気温 5.5℃
最高気温 13.7℃
平均気圧 1026.6 hPa
平均湿度 60 %
平均風速 2.6 m/s
日照時間 3.6 時間
降水量 0.0 mm

本静濱分教会 5代会長就任奉告祭



参拝者59名。

挨拶に立った大教会長は

「今日の奉告祭を吉祥として、この教会が三つの目標をもって新会長とともに歩んでいただきたい。」とし、「二つ目は、

飯降伊蔵先生の逸話にならない、を、の思召はどこにあるのか、伺いを立てて確認しながら事にあたっていただきたい。」
「二つ目は、教会は駅伝のたすきをつなぐように、さまざまな道や風向きの中を、代々つないできました。これから人材のご守護をいただけるよう勤めていただきたい。」
「三つ目は、教会らしい教会を目指していただきたい。いつも人が寄り集い、話しやすい雰囲気、教会に行けば陽気ぐらしが味わえるような教会を目指してください」と述べられました。



続いておつとめ・てをどりが陽気に勤められました。
なお、この奉告祭に前後して大教会長は、今年創立100

シータック教会 7代会長就任奉告祭



シータック教会(長尾照明

会長、米国ワシントン州エッジウッド市)では、長尾啓子会長のお運びで、11月26日のお運びで、長尾照明氏(42)の教会長任命の理のお許しを戴いておりましたが、去る12月14日午前10時より大教会長を迎え(随員・横山正次准役員)7代会長就任奉告祭を執り行いました。

数日來雨天が続く中、当日は晴天のお恵みをいただき、米国内外より80名が参り集いました。

周年を迎える本東分教会(太田昭一会長、東京都世田谷区)、本草分教会(倉嶋孝明会長、東京都練馬区)にも参拝されました。



英語で挨拶にたった大教会

長は、これまで27年間教会長を務められた今は亡き長尾幸生5代会長、続いて15年間務められた長尾啓子6代会長に労いと祝意を述べられた上で、これから目指す教会の在り方について言及。「箱はその中に何を入れるかでその価値が決まるように、シータック教会へ行く心と心が晴れるなら『心が晴れる教会』、身上・事情で悩み苦しむ人が教会へ足を運ぶなら『人たすけ教会』となります。シータック教会はこれから先人の足跡の上に

さらに陽気ぐらし世界への歩みを進め、『陽気ぐらし世界の教会』と輝くよう、新会長を志に歩んでいただきたい」と述べられました。

奉告祭には深谷洋アメリカ伝道庁長ご夫妻をはじめ、アメリカ本土、カナダ、ハワイ、日本からも参拝者が集い、陽気に勇んだおつとめが勤められました。

本草分教会100周年記念

本草分教会(倉嶋孝明会長、東京都練馬区)では、11月11日午後1時より、創立100周年記念の月次祭を、牧野近弘本京分教会長、牧野道昭前会長を迎え執り行いました。参拝者28名。



斯道会別席団参 本島より帰参者 577名

本年2回目の「斯道会別席団参」が11月30日に実施され、本島大教会から577名が帰参しました。

前日と当日は穏やかな小春日和に恵まれ、初席19名、中席43名(詰所扱い分)、おさづけの理を3名が拝戴しました。

本島大教会では教祖140年祭に向かって「成人目標」の一つに「おちばへ帰らせて頂き、積極的にひのきしんを行う」

続いて午前11時30分より西礼拝場にて「定時のお願いとめ」に参拝。年祭の心定めとご守護を祈念しました。

また前日の29日午後6時から詰所食堂において「嬉し楽しおしゃべり横丁」を開催。婦人会・青年会・少年会・学生担当委員会の合同で、模擬店やおたのしみ企画で帰参者を労い、288名が楽しいひとときを過ごしました。

註「斯道会」とは河原町大教会の流れをくむ直属37教会により構成されています。



本島野球部、17年ぶり2度目の優勝



対1。準々決勝は、北海道教区と対戦し8対1。第3日目の準決勝は朝倉大教会(福岡教区)と対戦し13対9。決勝は葛原分教会(岐阜大教会・岐阜教区)と対戦し8対3で勝利。スコアは点差がありませんが、試合内容はいずれも厳しく、いつ逆転され負けてもおかしくないタフな2日間でした。

なお前回の優勝は平成20年の第36回大会。このときは初

出場初優勝の快挙を成し遂げましたが、メンバーも世代交代と若返りが進み、今年は力強いチームに成長しました。

本島大教会野球部出場メンバー

▼本島△片山幹太△文岡育則
▼樺太△平井勇成(三) ▼本樺△阿部祥大(中)△榎並弘(二・右) ▼本千恵△齋藤義彦 ▼堀良△香川靖幸 ▼本柳△水口崇捕 ▼本備前△伊東賢太郎(一)△伊東孝之(左・右) ▼本亀△長尾海和△長尾大助(右・左) ▼与島△岡崎八郎(遊) ▼本新田△窪田教一 ▼文峰△肥後信(一・投) ▼肥後八峰△森光征(投)△肥後大地(二・投)

すき間のおはなし

本島野球部初観戦記

斯道会別席団参の前日、教養掛をつとめている岡崎八十則部長の声かけにのって、雲庵道延先生らと筆者の4人で本島野球部の試合観戦に行った。実は筆者は初観戦で、カメラを持参して撮った。野球のことはよく分からなくても、現場に行けば気づくことがいくつもある。まず今年のチームはみんな若い。体格が違う。お尻と太ももの筋肉がブリツとしている。声がよく出ている。野次には愛がこもっている。打ったらデカい。打ち始めたら次々打つ。17年前に創部して今日まで出場しているのは伊東賢太郎CAP。さらに二世選手が5人、初参加もいる。選手層の厚さに強みがある。ベンチ観戦の雲庵道延先生はお元気だったが、私とはこれが最期となった。なお撮影した試合写真(80枚)はQRコードから、どうぞご覧ください。(むかいじょ)



青年会マンスリー隊

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、大教会祭典準備ひのきしんを行うマンスリー隊(第15回)を12月21日(日)に実施。会員7名、O B I名の計8名が参加し、調饌、洗車、風呂掃除を行いました。次回1月18日(日)が最終回となります。



本島詰所玄関スロープが改良され、車椅子で移動しやすくなりました。



大教会境内地は深夜イノシシが出没します。ご注意ください。



イノシシに掘り起こされた芝生

慶事

清水ジェイ・ミチユキ氏(タミナル教会後継者)と曹恵晶さん(八木大)の結婚式が11月28日、本部教祖殿で執り行われました。



ろくぢ会 (立教189年12月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼安藝本中△池田こみち ▼崇徳分教会 ▼本高分教会 ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

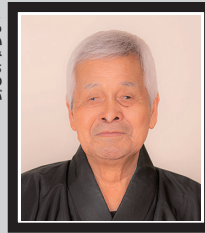
【教会の掲示板】

本島ドットコムよりダウンロードできます



訃報

雲庵道延氏



雲庵道延氏(大教会准役員・本九分教会前会長)は去る12月19日午後11時お出直しになりました。享年81歳。
葬儀はみたまうつしを12月23日午後6時より、告別式を翌24日午前11時より、唐津市内の葬祭場にて、大教会長斎主のもと執り行われました。

雲庵道延氏略歴 昭和19年2月8日生まれ。

昭和37年2月2日、おさづけの理拝戴。昭和39年2月16日、教会長資格検定合格。同年3月3日、天理教専修科卒業。同年4月14日、教人登録。昭和44年10月16日、秀島まち子と結婚。昭和46年11月22日、大教会神殿奉仕人。昭和57年10月21日、大教会准役員登用。昭和60年5月26日、天津本華分教会3代会長拝命。平成2年3月26日、天津本華分教会会長辞職。本九分教会5代会長拝命。平成3年11月22日、大教会納骨堂運営委員会委員。立教172年2月22日、大教会創立110周年記念祭小委員会委員。教会長在職期間35年9ヶ月間。大教会神殿講話を5回、修養科一期講師を2回(568期、617期)、修養科教養掛を2回(504期、666期)、佐賀教区主事、集会員を勤められました。

訃報

加藤文男氏



加藤文男氏(鶴峰分教会初代会長)は去る12月18日午前1時5分お出直しになりました。享年82歳。
葬儀はみたまうつしを12月19日午後6時より、告別式を翌20日午前10時より、鶴峰分教会において、日高寛士銀峰分教会長斎主のもと執り行われました。みたまうつしに大教会長が参列しました。

加藤文男氏略歴 昭和18年4月3日生まれ。昭和46年9月20日、おさづけの理拝戴。同年9月27日、修養科第36期修了。昭和49年2月19日、教会長資格検定合格。同年5月18日、教人登録。平成4年4月26日、鶴峰分教会設立、初代会長拝命。立教155年11月22日、大教会神殿奉仕人。平成14年4月、修養科第73期教養掛。平成27年11月26日、鶴峰分教会附属建物増築及内部改造願お運び。教会長在職期間33年8ヶ月間。

事情はいび

立教188年12月、本島関係のお運びはありませんでした。

おさづけの理拝戴

(立教188年11月分)

本島 上原正隆
赤峰 原田聖実
赤峰 原田尚実
赤峰 阿部慶子
雄福峰 西形彩実
文峰 上ノ瀬理

【計6名】

修養科第二〇二期修了

(立教188年11月27日修了)

仙峰 鈴木 清

【計1名】

教人資格講習会修了

(立教188年11月10日付)

鶴峰 尾関 操

【計1名】

教人登録

(立教188年11月8日)

吉峰 船木幸美

【計1名】

をびや許し

(立教188年11月分)

本都 五味香織
同朋 小西由佳
本陽泉 田村麻衣
本千嘉 佐志佳子
實峰 新谷紗和

【計5名】

証拠守り下附

(立教188年11月分)

本島1、同朋1、本陽山1、
大隅聖峰1、鶴峰1、シータツ
ク2

【計7名】

統計 (11月1日～30日)

教会名	初席	中席	定員	修科	教人講習	検定講習
本島			1			
本室		1				
本米		1				
本米		1				
本米	1	4				
本千	1	1				
本葵	2					
本吹		1				
同朋		2				
撫川	1	1				
安藝本		1				
本陽		2				
本備	1					
本府		1				
本龜		2				
崇徳	1					
与島	1	1				
本陽	2					
赤峰	1	2	3			
南峰		1				
神峰	1	2				
雄福	1	3	1			
雄山		1				
栄森	1	3				
栄東	1					
大隅聖	1	1				
大松	1					
大駿		2				
文峰			1			
鶴峰	6	8			1	
都峰		1				
仙峰		1				
タミナル		1				
合計	23	45	6	1	1	0

布教部報告(12月分) 数字は本年の提出回数です

にをいがけ名簿提出教会 (12月)			おさづけ取次報告教会 (12月)		
本島10	本米浜12	本新田11	本島12	本千賀12	本陽山12
樺太12	本千代12	赤峰12	樺太12	本千治9	本肥港11
本田中8	本千賀11	雅峰12	本田中8	本千恵10	本新田12
本倉岡12	本千治11	吉峰3	本倉岡12	本平濱9	赤峰12
本樺12	本千恵9	神峰11	本陸奥10	本浜陽5	雅峰12
本室11	本浜陽5	豪峰12	本樺12	本淀1	吉峰2
渋谷10	攝津12	倉峰11	本室11	攝津12	神峰11
代々木9	攝泉11	栄峰7	渋谷10	攝泉12	豪峰11
本萬代10	本邦4	大雄峰10	代々木10	本邦10	倉峰11
本都11	本太12	雄福峰10	本萬代11	本太12	栄峰7
本京12	本萩11	雄山峰7	本都11	本萩11	大雄峰10
本東12	安藝本中7	栄森峰11	本京12	本岡10	雄福峰11
本草12	本備前12	栄星峰11	本東12	本福5	雄山峰10
本護9	本迪7	栄東峰11	本道盛12	本山海5	栄森峰8
本三12	本府中11	霊峰12	本草12	本備前12	栄星峰12
本恵12	沖浦12	實峰3	本護5	本迪10	栄東峰8
本恵山9	本龜9	大隅聖峰11	本三12	本府中10	霊峰11
本恵明12	本清水9	大駿峰12	本恵11	沖浦12	實峰3
本静濱12	崇徳12	別峰10	本恵山12	本龜10	大隅聖峰11
本静森10	本高12	大英峰11	本恵明12	本清水10	大松峰11
本日米11	本宣道11	文峰9	本静濱12	崇徳12	大駿峰12
本浜10	本九12	鶴峰11	本日米10	与島9	別峰10
本米12	本小倉9	都峰12	本浜12	本廣4	大英峰11
本米里12	本肥港9	仙峰12	本米12	本勇9	文峰5
			本米臺9	本高12	肥後峰8
			本米里12	本宣道7	鶴峰11
			本千代12	本小倉9	都峰11
					仙峰12
計72教会 657名			計84教会 1,935回		

- 年会員 56 名、育成会員 83 名、計 139 名参加)
- 7.26 本島団鼓笛隊第 114 回夏季合宿(31 日まで本島詰所、105 名参加、30 日の鼓笛オンパレードは本隊が R.Y.G. で金賞受賞、ドリーム隊はさんぽとコーヒープレイクで奨励賞受賞)
- 7.27 立教 188 年こどもおちばがえり(8 月 3 日まで教会本部、本島団からは帰参教会 77 教会、帰参総数 462 名)
- 7.30 MOMO の会(31 日まで本島詰所、21 名参加、女鳴物勉強会)
- 8.2 和太鼓ほんじま、こどもおちばがえりピッキーステージ(南右第二棟陽気ホール)にて、セミージャ親里のサポート出演(3 日まで 6 公演)
- 8.9 学生生徒修養会高校の部(13 日まで教会本部、学生 6 名、スタッフ 6 名参加)
- 8.9 青年会本島分会ファミリーマンスリー隊(第 11 回、24 名参加)
- 8.13 赤峰少年会おとまり会(15 日まで赤峰分教会、向所隆文会長、12 名参加)
- 8.17 寺本淑美大教会役員夫人・本篠分教会前会長夫人出直し(享年 93 歳)
- 8.17 崇徳育成会(18 日まで本島大教会、高垣光治会長、17 名参加)
- 8.18 本島学生会サマーキャンプ(20 日まで大教会、学生 17 名、スタッフ 5 名参加)
- 8.20 女子青年こかん様に続く会(大教会、9 名参加)
- 8.20 青年会本島分会あらきとうりょう入門塾(大教会、8 名参加)
- 8.22 大教会 8 月月次祭(神殿講話：横山富明准役員)
- 8.25 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島詰所、55 名受講)
- 8.28 大教会長海外巡教(9 月 5 日まで)
- 8.31 カリフォルニア教会 5 代会長就任奉告祭(大西太一会長、参拝者 55 名)
- 8.31 関東の集い(渋谷分教会、56 名参加)
- 9.10 増田信男本護分教会 3 代会長出直し(享年 91 歳)
- 9.13 青年会本島分会秋季雅楽講習会(14 日まで本島詰所、京城分会 1 名と合同で本島分会 8 名参加)
- 9.20 青年会本島分会マンスリー隊(第 12 回、16 名参加)
- 9.22 大教会 9 月月次祭(神殿講話：大西わきえ役員夫人・米国より動画による)
- 9.22 田中信義本米浜分教会 3 代会長出直し(享年 82 歳)
- 9.23 大教会秋季霊祭(11 霊)
- 9.25 本京分教会任命願お運び(任命：牧野近弘)
- 9.25 本静濱分教会任命願お運び(任命：牧野道昭)
- 10.4 イリノイ教会 4 代会長就任奉告祭(高垣弘明会長、参拝者 29 名)
- 10.12 本京分教会 5 代会長就任奉告祭(牧野近弘会長、参拝者 77 名)
- 10.12 青年会本島分会マンスリー隊(第 13 回、11 名参加)
- 10.19 本千代分教会年祭(吉田ハン 2 代会長 50 年祭、吉田義雄・枝美子 3 代会長夫妻 20 年祭、吉田晴雄会長、参拝者 41 名)
- 10.24 本部大裏地区稲刈りひのきしん(45 名参加)
- 10.21 宮森与一郎先生によるおてなおし(本島大教会、98 名受講)
- 10.22 大教会秋季大祭(神殿講話：世話人宮森与一郎先生)
- 10.25 本田中分教会神殿増築及修築・内部改造並屋根葺替・臨時祭典願お運び(佐々木治道会長)
- 10.25 天理教青年会第 99 回総会(本島分会より 32 名参加)
- 10.25 大教会布教部主催布教推進研修会(本島詰所、86 名受講、講師：西村和久先生)
- 10.25 片山好次、本部青年登用
- 10.30 高島清弘役員出直し(享年 92 歳)
- 10.31 岡本眞砂子オープン教会 5 代会長出直し(享年 96 歳)
- 11.3 仙峰分教会創立 50 周年(向所千夏会長、参拝者 30 名)
- 11.11 本草分教会創立 100 周年(倉嶋孝明会長、参拝者 28 名)
- 11.13 大西わきえ役員夫人・カリフォルニア教会前教会長夫人出直し(享年 73 歳)
- 11.16 中路純攝桂分教会 2 代会長出直し(享年 87 歳)
- 11.22 大教会 11 月月次祭(神殿講話：横関茂治准役員)
- 11.22, 23 本田中分教会創立 100 周年記念祭並びに屋根葺替鎮座奉告祭(佐々木治道会長、参拝者 48 名)
- 11.24 青年会本島分会マンスリー隊(第 14 回、本島詰所、17 名参加)
- 11.26 シータック教会任命願お運び(任命：長尾照明)
- 11.26 赤峰分教会附属建物増築願お運び(向所隆文会長)
- 11.28 清水ジェイ・ミチユキ(タミナル教会後継者)・曹恵品(ジョ・ヘジョン、八木大教会)結婚
- 11.30 斯道会別席団参(帰参総数 577 名、初席 19 名、中席 43 名、おさづけの理拝戴 3 名、嬉し楽しおしゃべり横丁 288 名)
- 11.30 本島大教会野球部が第 52 回全教野球大会にて 17 ぶり 2 度目の優勝
- 12.6 本静濱分教会 5 代会長就任奉告祭(牧野道昭会長、参拝者 59 名)
- 12.14 シータック教会 7 代会長就任奉告祭(長尾照明会長、参拝者 80 名)
- 12.18 加藤文男鶴峰分教会初代会長出直し(享年 82 才)
- 12.19 雲庵道延准役員・本九分教会 5 代会長出直し(享年 81 才)
- 12.21 青年会本島分会マンスリー隊(第 15 回隊、8 名参加)
- 12.22 大教会 12 月月次祭(神殿講話：長谷川邦昭役員・米国より動画による)

本島通信で振り返る 立教188年の出来事

- 1. 1 大教会元旦祭
- 1. 11 おやさとふしん青年会ひのきしん隊第933回隊(13日まで、本島分会より8名入隊)
- 1. 11 本島同鼓笛隊第49回北海道地区冬季合宿(13日まで本室分教会、6名参加)
- 1. 14 霊峰分教会遷座祭(宮路和徳会長)
- 1. 19 青年会本島分会マンスリー隊(第4回、11名参加)
- 1. 22 大教会春季大祭(神殿講話：片山幹太大教会長)
- 1. 25 教祖140年祭教会長夫妻おたすけ推進のつどい(本島詰所、100名参加)
- 1. 26 本桶川分教会任命願お運び(任命：田中宏教)
- 1. 26 文峰分教会任命願(任命：肥後信)
- 2. 1 青年会本島分会春季雅楽講習会(2日まで本島詰所、京城分会3名と合同で本島分会10名参加)
- 2. 1 松田孝太郎本治分教会4代会長出直し(享年89歳)
- 2. 8 文峰分教会4代会長就任奉告祭(肥後信会長、参拝者70余名)
- 2. 22 大教会2月月次祭(神殿講話：牧野道昭)
- 2. 23 青年会本島分会マンスリー隊(第5回、14名参加)
- 2. 25 宮森与一郎先生によるおてなおい(本島詰所、約60名受講)
- 2. 25 平井昌子樺太分教会4代会長夫人出直し(享年94歳)
- 2. 28 楠本美代子吉峰分教会初代会長出直し(享年92歳)
- 3. 2 青年会本島分会マンスリー隊(第6回、10名参加)
- 3. 4 学生生徒修養会大学の部(3月4日～8日、本島より学生7名、スタッフ2名参加)
- 3. 9 本桶川分教会5代会長就任奉告祭(田中宏教会長、参拝者50余名)
- 3. 10 学生生徒修養会高校卒業生コース(3月10日～12日、学生3名、スタッフ3名参加)
- 3. 12, 13 霊峰分教会神殿屋根葺替鎮座奉告祭(宮路和徳会長、参拝者40余名)
- 3. 17 池田隆弘安藝本中分教会6代会長20年祭(池田さわみ会長、参拝者48名)
- 3. 22 大教会3月月次祭(神殿講話：岡崎マーロン役員)
- 3. 23 大教会春季霊祭(16霊)
- 3. 26 教祖140年祭教会長登殿参列(第11回13名参列)
- 3. 26 タミナル教会神殿屋根葺替願お運び(清水ロバート・マサミ会長)
- 3. 28 春の学生おちばがえり(本島学生会より学生24名、担当委員7名参加)
- 3. 28 本島同鼓笛隊第113回春季合宿(4月1日まで本島大教会、101名参加)
- 3. 28 MOMOの会(4月1日まで本島大教会、20名参加、鼓笛隊応援ひのきしん、おつとめ着付け勉強会)
- 3. 29, 30 本福分教会神床位置変更鎮座奉告祭(上田敬子会長、参拝者25名)
- 4. 12 青年会本島分会マンスリー隊(第7回、20名参加)
- 4. 14 大教会4月月次祭(神殿講話：井上みつの役員夫人、祭典後教祖お誕生まつり)
- 4. 17 文岡邦人ミッドウエスト教会長がシカゴ・スウェンボル図書館で天理教紹介講座を開催(対面8名、オンライン9名受講)
- 4. 18 片山幹太郎、本部青年に登用
- 4. 18 婦人会本島支部の集い(本島詰所、91名参加)
- 4. 19 天理教婦人会第107回総会(本島支部より150名参加)
- 4. 29 西山貞子准役員・本室分教会3代会長出直し(享年104歳)
- 5. 2 青年会本島分会能登被災地ひのきしん(4日まで、12名参加)
- 5. 10 大教会表参道ツツジ刈りひのきしん(15日まで、9名参加)
- 5. 11 本樺分教会創立100周年記念祭(大上道徳会長、参拝者53名)
- 5. 16 片山香葉子、松村天晴と結納
- 5. 18 青年会本島分会マンスリー隊(第8回、12名参加)
- 5. 22 大教会5月月次祭(神殿講話：少年会縦の伝道講習会として島村正規少年会本部副委員長)
- 5. 25 斯道会別席団参(婦参総数853名、初席者29名、中席者51名、おさづけの理拝戴1名、前夜祭参加者265名、記念講演参加者459名)
- 5. 26 教祖140年祭教会長登殿参列(第12回2名参列)
- 5. 26 本埼台分教会任命改称願お運び(任命：根岸巖、改称：本浜陽分教会)
- 5. 29 大教会長海外巡教(6月4日まで)
- 5. 30, 31 タミナル教会神殿屋根葺替鎮座奉告祭(清水ロバート・マサミ会長、参拝者14名)
- 6. 7, 8 神峰分教会神殿落成鎮座奉告祭(橋口徹会長、参拝者102名)
- 6. 11 大矢栄子栄峰分教会初代会長夫人出直し(享年88歳)
- 6. 21 青年会本島分会マンスリー隊(第9回、12名参加)
- 6. 22 大教会6月月次祭(神殿講話：大上道徳准役員)
- 6. 24 本部大裏地区田植えひのきしん(33名参加)
- 6. 29 本浜陽分教会3代会長就任奉告祭(根岸巖会長、参拝者27名)
- 7. 12 青年会本島分会レッツゴー青年会(13日まで赤峰分教会、31名参加)
- 7. 20 青年会本島分会マンスリー隊(第10回、13名参加)
- 7. 22 大教会7月月次祭(神殿講話：後藤正治准役員)
- 7. 26 教祖140年祭教会長登殿参列(第13回最終回5名参列)
- 7. 26 カリフォルニア教会任命願(任命：大西太一)
- 7. 26 イリノイ教会任命願(任命：高垣弘明)
- 7. 26 少年会本島団第35回おつとめ総会(本島詰所、少

大教会からの お知らせ

12月22日教会長会議連絡事項

教祖百四十年祭

【教会本部】

立教189年1月26日10:30執行

— 1月26日のうごき—

- 朝づとめ：午前7時
- 夕づとめ：午後5時15分
- 神殿おたすけ
時間：14:30 受付
場所：神殿西お守所(西礼拝場南側)
- をびや許し・おももり下附
時間：8:00～9:30
14:30～16:30
場所：第二御用場
- 別席
1/26 別席・お誓いはありません
- 手荷物一時預かり所
時間：8:00～16:00
場所：三島公会堂
※境内掛本所・インフォメーションセンターでの手荷物預かりは行いません。

教祖140年祭教会長ご招宴

【教会長ご招宴担当】

- ご招宴日：
1月28日、29日、30日、2月1日
— 当日の流れについて—
- ◇ご招宴会場：天理大学杉之内体育館
- ◇当日の集合時間：午前11時、本島
詰所写真の間
- ◇諸注意連絡後、バスに乗り、真
南棟臨時乗降場へ向かいます。
- ◇ご招宴時間：正午から午後1時半
- ◇帰りは真南棟臨時乗降場まで徒歩移
動の後、迎えのバスに乗りします。
- ◇欠席する教会長はお早めに担当(平井
真治郎役員)までお知らせください。

青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

- 実施日：1月18日(日)本島大教会

特別展示『おやさま』

【教会本部】

- 教祖140年祭特別展示『おやさま』
教祖ゆかりの品、写真パネル展示など
- 開催期日：1月24日(土)～27日(火)
 - 開催時間：午前10時～午後3時
(1月26日は午後2時30分から4
時30分までの開催)
 - 開催場所：おやさとやかた南右第2棟

鼓笛隊北海道50周年総会

【本島団鼓笛隊】

- 本島団鼓笛隊
「北海道地区創立50周年記念総会」
- 開催日：立教189年1月11日(日)
 - 会場：本樺分教会
 - 派遣指導員：大西知、佐藤道子、鎌
田康典、香川靖幸

鼓笛隊教祖140年祭御供演奏

【本島団鼓笛隊】

- 本島団鼓笛隊
「教祖140年祭OB/OG合同御供演奏」
- 日時：1月25日(日)14時30分
 - 場所：本部南参道(元の黒門前)
 - 対象：現役の隊員、指導員、鼓笛隊
OB&OG
 - 現役隊員の問合せ先：佐藤道子部長
 - OB&OGの問合せ先：石神和則
(090-8030-4012)

春季雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 本島・京城合同雅楽講習会@京城大
- 日時：立教189年2月7日(土)10
時開講、8日(日)13時閉講
 - 場所：京城大教会
 - 参加御供：2000円(日帰り500円)

レッツゴー青年会

【青年会本島分会】

- 日程：2月14日(土)～17日(火)
- 場所：樺太・本樺・本室分教会
- 派遣委員：伊東孝之、白垣俊生、
岡崎八郎

天理教少年会幹部会

【少年会本部】

- 日時：2月27日(金)午前9時30分
- 会場：第二食堂

1月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

- 〈大教会・食堂ひのきしん〉
- 期間：1月21日～22日
 - 派遣教会：本九

〈教祖140年祭詰所受入ひのきしん〉

 - 集合：1月24日(土)午後8時30分
 - 解散：1月27日(火)午後2時
 - 食堂係：樺太、本京、本浜、本攝、
同朋、本福、安藝本中、本九台、赤
峰②
 - 宿舎係：渋谷、本浜、本邦、赤峰
 - 総務・会長室・写真の間・世話部・
車輛・海外係・記録・会計・教養掛
は各自に通知

学修・大学の部

【本部学生担当委員会】

- 学生生徒修養会・大学の部
- 期間：令和8年3月4日(水)～
3月8日(日)(4泊5日)
 - 申込期間：令和7年12月25日～
令和8年2月15日
 - 受講御供：10,000円(当日まで詰所
に納めてください)
 - 詳細につきましては、雲庵春彦
(090-2515-8039)、横関茂治
(090-1138-1690)までお問合
せください。

学修・高校卒業生コース

【本部学生担当委員会】

- 学生生徒修養会・高校卒業生コース
- 期間：令和8年3月10日(火)～
3月12日(木)(2泊3日)
 - 申込期間：令和7年12月25日～
令和8年2月15日
 - 受講御供：5,000円

大教会春季大祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 申込方法：
メールで、live@honjima.com
に「ライブ希望」と「教会名・氏名」
を記入してお申し込みください。
当日朝までにライブ視聴できるア
ドレスをメールでお知
らせします。
- 申込締切：1月21日午
後5時まで



<https://www.honjima.com/>